

平成26年12月宮古市議会定例会一般質問通告一覧表

(質問順)

質問月日	質問者	質問事項
12月15日 (月曜日)	12番 須賀原チエ子 議員 (ネクストみやこ)	1 除雪体制について P 1 2 市民の憩いの場である藤の川海水浴場の 保存について P 1 3 薬物乱用の危険性とその防止について P 1
	21番 竹花 邦彦 議員 (新風クラブ)	1 J R山田線(宮古・釜石間)の三陸鉄道運営 について P 2 2 行政組織のフラット化・グループ制について P 3
	24番 茂市 敏之 議員 (復興を考える会)	1 地方創生について P 4 2 小売業の振興策について P 5
	3番 近藤 和也 議員 (ネクストみやこ)	1 「みやこ」の観光と情報発信について P 6 2 「行政に頼らないまちづくり」の推進に ついて P 7
	14番 橋本 久夫 議員 (ネクストみやこ)	1 自然と人々の営みに配慮したまちづくりに ついて P 8 2 里海づくりについて P 8 3 インバウンド観光の戦略について P 8
12月16日 (火曜日)	9番 内館 勝則 議員 (新風クラブ)	1 生涯学習推進本部の現状と課題について P 9 2 小学校統廃合における閉校校舎の利活用に ついて P 9 3 文化の振興について P 9
	26番 田中 尚 議員 (日本共産党)	1 J R山田線復旧事業等について P 11
	2番 小島 直也 議員 (公明党)	1 森づくり体験学習会の開催内容について P 12
	8番 伊藤 清 議員 (一新会)	1 米価下落対策について P 13 2 シカ駆除対策について P 13
	10番 北村 進 議員 (新風クラブ)	1 漁業者育成の手立てについて P 14 2 子どもたちの心のケアについて P 15

質問月日	質問者	質問事項	
12月17日 (水曜日)	1番 今村 正 議員 (尽政クラブ)	1 市庁舎移転の建設内訳について 2 宮古市空間線量率の上昇について 3 安全な放射線量について 4 住民説明会について	P 16 P 16 P 16 P 17
	18番 長門 孝則 議員 (新風クラブ)	1 水道事業の経営について	P 18
	20番 落合 久三 議員 (日本共産党)	1 防災集団移転事業などで土地を譲渡した場合の税並びに使用料等の負担について 2 中心市街地拠点施設整備事業について	P 20 P 20
	22番 松本 尚美 議員 (一新会)	1 ファンド（投資基金）の創設と運用を 2 農林水産業におけるIT活用強化を 3 道路網整備を見越しての戦略は	P 21 P 21 P 21
	7番 中島 清吾 議員 (日本共産党)	1 子どもの医療費無償化政策について	P 22

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(月)

質問順位 1番

質問者 議席番号 12番 須賀原 チエ子 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 除雪体制について	<p>本年3月定例会において、市の除雪対策について一般質問を行った際、市当局から「除雪体制を組むたびに、市民の方々から色々と意見が寄せられているのが実態である。翌年度の除雪に対してそういった声も、頂いた意見も検討しながら体制を考えていく」と答弁を頂きました。</p> <p>そこで、平成25年度の除雪対策の検証とその改善点について次のことを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 除雪体制について自治会・町内会との協働は欠かせません。市が必要と考える市道の除雪に対する協働のあり方を伺います。 2 平成26年度以降の重機の整備計画、委託業者との連絡体制、市民からの声に対する改善点を伺います。 3 少子高齢化が進み、自治会機能が低下する中で歩道の除雪について、今後の市の対策を伺います。併せて、融雪剤等の配布についての周知方法について伺います。 	
2 市民の憩いの場である藤の川海水浴場の保存について	<p>今回、県から出された藤の川の防潮堤計画によると海が見えなくなります。駐車場も狭く、海に行くためには数メートルも階段を降りなければならず、これまでのような市民の海水浴場とは言いがたくなります。この計画に多くの市民も戸惑っています。</p> <p>そこで、藤の川地区を新たな視点で整備し、市民の憩いの場として、また、海水浴場として可能な限り、次世代に温存することがベストと考えます。そのために、ホテルの後方に海水浴客のための駐車場を整備し、新たな観光の場所とすることを提案しますが、市の見解を伺います。</p>	
3 薬物乱用の危険性とその防止について	<p>危険ドラッグなどの薬物は、一度使用すると依存症になるおそれがあり、自分の意志ではやめられず、薬物欲しさに犯罪に手を染める危険性もあります。</p> <p>このように、非常に危険な薬物乱用を未然に防ぐためには子どもころから正しい知識を普及させることが必要不可欠です。</p> <p>薬物乱用防止について、市民への周知方法などの対策を伺います。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(月)

質問順位 2番

質問者 議席番号 21番 竹花邦彦議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
<p>1 JR山田線(宮古・釜石間)の三陸鉄道運営について</p>	<p>11月25日に開催された第2回JR山田線復旧に係る沿岸市町村首長会議において、JR山田線の三陸鉄道運営移管の最終判断・結論を年内に出すこととされた。ついては、最終判断に向けた市長の姿勢と課題等の認識、考え方を伺う。</p> <p>(1) JR提示移管協力金の評価と最終判断に向けた基本姿勢について</p> <p>① JRから提示された移管協力金等の支援内容について、市長はどう評価しているのか伺う。</p> <p>② 年内最終判断に向けての市長の基本姿勢を示されたい。</p> <p>(2) 三陸鉄道運営判断における課題について 三陸鉄道運営の判断に際し、明らかにされる必要があると考える次の課題等について、市長の考え、今後の対応を伺う。</p> <p>① 市長は9月議会で、JRの赤字補填額の妥当性を判断する材料の提示を求めるとともに、自治体側でも独自に試算することが必要との認識を示したが、未だに明らかにされていない状況にある。</p> <p>三陸鉄道運営を判断する際の一つのバックデータとして、山田線の赤字想定額を検証する必要があると考えるが、あらためて市長の考えと今後の対応を伺う。</p> <p>② 災害発生時の復旧工事費の三陸鉄道及び自治体負担の行方も大きな課題と考える。JRは30億円の移管協力金には災害時及び施設・設備更新時の対応等も含む考えを示しているが、大規模災害時の三陸鉄道及び自治体の財政負担対応の考え方を伺う。</p> <p>③ JR山田線を三陸鉄道が運営するとなれば、現在、三陸鉄道沿線自治体が負担している運営費補助金等についても、南北リアス線に加え山田線に係る分の負担が生じることになり、自治体負担の増加につながると思われるがどうか。</p>	

	<p>④ 市長は三陸鉄道運営の是非判断について、復旧後の自治体負担の軽減と鉄道を維持していくために必要なJRからの支援が確保できるかどうか最終的判断の基準となるとの考えを示してきた。よって、市長が三陸鉄道運営容認の判断をする場合には、三陸鉄道の安定的、持続的経営の確保・維持が図られることを具体的に示す必要があると考える。移管協力金を活用した「基金積立」もその判断の一つと思われることから、基金積立額及び活用の期間等はどうか想定されているのか伺う。</p>	
<p>2 行政組織のフラット化・グループ制について</p>	<p>この課題について、市長は今年の12月議会で「庁内でも賛否両論ある」として、「職員が働きやすい状況をどのようにつくるか。早い時期に結論を出したい」と答弁している。</p> <p>これまでの庁内での議論状況と新年度に向けた対応について伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(月)

質問順位 3番

質問者 議席番号 24番 茂市敏之議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 地方創生について	<p>① 本年5月8日、日本創生会議の座長を務める増田寛也氏から、人口減少による消滅可能性都市という衝撃の発表があり、この中に本市も含まれている。本市にとって震災復興と合わせて、今後の最重要課題であることは明白だ。</p> <p>このことが呼び水となり、安倍内閣において内政の主要課題と認識され、9月3日「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、地方創生関連2法案が可決された。その内容を見ると、やる気のある自治体に対し集中的に政策資源を投入し、政策効果を最大化することとしている。</p> <p>このことについて、どのように取り組む考えでいるのか伺う。</p> <p>② 東京一極集中の歯止めとするため、総務省では「地方中枢拠点都市」構想の実現に動いており、すでに9市を選定し、この中に盛岡市も含まれている。近隣市町村とのネットワーク形成により、地方経済のけん引役とするとともに、高次の都市機能の集積を図る構想が検討されている。</p> <p>本市もやる気を持って対応を検討し、盛岡市のネットワークの一自治体となるべく連携の推進を図るべきと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>③ 少子化対策には、雇用の場の確保が必要である。地方創生では地元企業の振興がメインであるが、本市には職種が少なく就業のミスマッチが起きている。特に、高卒者の働く場を確保しつつ選択を可能とする意味からも、企業誘致が必要である。</p> <p>しかし、企業誘致できる場所は田鎖の工業専用地域しかないが、ここは工業用地として造成されておらず、すぐに工場等が立地できる状況にない。今後、どうするつもりか伺う。</p>	

	<p>④ 地場産業で雇用の場を確保するためには、基幹産業である水産業と観光の振興を図ることが肝心要と思うが、この水産と観光について雇用の場を増やし、若者を定着させるため、今、本市で何が足りないのか、どうすべきか伺う。</p> <p>⑤ 東京在住者の4割が、地方への移住を検討している。心が優しく思いやりがあり、新鮮な魚介類や山菜が食べられる宮古市は、ノスタルジーという魅力があふれている。空き家と耕作放棄地を市で買い上げ、移住する方に無償で提供してはどうか。創生会議の中でも、中高年の地方移住の支援と新規就農の支援をうたっている。「終の住処」作戦として、リタイアした中高年に的を絞ってIターン・Uターンを働きかけてはどうか伺う。</p>	
<p>2 小売業の振興策について</p>	<p>宮古商工会議所は、本年4月から5月にかけて「消費冷え込み対策と地域内経済循環の促進」を目的に、市内10商業団体と共同で「負けないぞ！宮古 お客様感謝キャンペーン」を実施したが、市長はどう評価するのか伺う。また、このような取り組みを継続すべきと思うが、市長の考えを伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(月)

質問順位 4番

質問者 議席番号 3番 近藤和也議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
<p>1 「みやこ」の観光と情報発信について</p>	<p>現在、宮古市をセールスする上で情報発信は不可欠です。その中でも、観光の役割は重要ですが、イベント関連に多くのウェイトをおいていると感じています。しかし、宮古市の観光を考えると、イベント以外のセールスポイントを整理、発信し、観光客を多く呼びこむための下地づくりを行っていく必要があります。それは、宮古市にある色々な素晴らしいもの、良いもの、面白いもの、楽しいもの、美味しいもの、歴史、文化、人など、「みやこ」ならではの情報を総合的に分かりやすく紹介することです。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>1 6月定例会で、観光の情報発信について質問しましたが、その後の対応について伺います。</p> <p>2 宮古港開港400周年記念事業があります。このイベントの宣伝は、宮古市をPRする上で相乗効果を生む可能性を内包すると考えますが、見解を伺います。</p> <p>3 現在、外部に向けての情報発信は、ホームページやフェイスブックなどがありますが、それ以外に宮古市を紹介する動画や紙面・冊子、またウェブでの統合的な情報発信の確立などの「みやこ」の面白さ、楽しさを紹介するコンテンツ作りを事業として真剣に取り組む必要があると考えますが、見解を伺います。</p>	

<p>2 「行政に頼らないまちづくり」の推進について</p>	<p>市民が行政に頼っているうちは、市民参画の協働というものが進まないと考えます。これは行政がいらないということではなく、市民が自ら企画し行動することを行政がサポートすることで市民主体のまちづくりが「成る」ということです。「行政に頼らないまちづくり」を「行政がどのように行うか」ということは一見矛盾しているように思えますが、業務の標準化の手間などに時間がかかるため、今のうちに考え、進めていくことが必要です。そうして不要な負担部分をそぎ落とすことが行政のスリム化につながりますし、市民にとっては自分たちの手で、自分たちが誇る宮古市をつくっていくことになります。それは、市民のレベルアップやアウトソーシングの基盤強化にもつながると考えます。このような考えをなじませるためには長い時間がかかると思いますが、これからの人口減少や過疎化を考える上で「自ら考え動く市民」を育成していくことは必要なことです。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>1 行政として、市民が行うまちづくりをサポートするためにどのような目線で、どのようなメニューがあるのか伺います。</p> <p>また、今後、施策として検討していることがあるのか伺います。</p> <p>2 人口減少などに合わせ行政のスリム化を図っていく必要があります。そのためには協働という観点からも様々な業務のアウトソーシングを進めていく必要があると思いますが、検討の状況を伺います。</p>	
--------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月15日(月)

質問順位 5番

質問者 議席番号 14番 橋本久夫議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 自然と人々の営みに配慮したまちづくりについて	<p>県における水門・防潮堤整備もそれなりに動き出してきている。しかし、動きが明らかとなるにつれて、懸念や不安が見え始めている。特に、これまで議論になかった藤の川海岸の防潮堤計画には大きな違和感を覚える。</p> <p>市として整備の必要性を含め、その点をどう認識しているか伺う。こうした整備による観光や沿岸漁業へのマイナス、海が見えなくなることによる防災意識の希薄化や、海との生活文化の衰退、生態系への影響などをどう捉えているか伺う。</p>	
2 里海づくりについて	<p>里海は、古くから水産・流通をはじめ、文化と交流を支えてきた大切な海域である。高い生物生産性と生物多様性が求められるとともに、人と自然の領域の中間点にあるエリアでもあり、陸地という里山と同じく人と自然が共生する場所でもある。里海は、人の手で陸域と沿岸海域が一体的に総合管理されることによって、豊かで多様な生態系と自然環境が保全され、私たちに多くの恵みを与えてくれる。震災で失われた沿岸域を取り戻すためにも、今一度、里海づくり、里海教育に取り組む考えはないか、見解を伺う。</p>	
3 インバウンド観光の戦略について	<p>地域の持続的な発展をめざし、各地でインバウンド観光の推進に取り組む動きが見られる。本市においても中国や台湾へのアプローチを展開しているように見受けられる。その展開の実態と手応えはどうか。地方においても2020年の東京オリンピックを契機にインバウンド観光は拡大し、多様化されると言われる。本市においても今後、戦略的に取り組んでいく必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>さらに、インバウンド観光には (1) 個人旅行(FIT)受け入れメニュー整備 (2) 映像によるシティプロモーション (3) 市内の外国語標識の現状と今後の整備計画 (4) Wi-Fiの環境整備 (5) 文化財簡易説明看板へのQRコードの活用等、今後、展開が必要と考えるが、現状等について伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(火)

質問順位 1番

質問者 議席番号 9番 内館勝則議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 生涯学習推進本部の現状と課題について	<p>教育行政方針において、社会を生き抜く「生きる力」を育む教育環境の整備に力を入れていくこととしており、重点施策に掲げている生涯学習の推進の具体的な取り組み手法として生涯学習推進本部を中心とした全庁的な生涯学習の推進体制を充実し各種施策を実施するとしているが具体的な取り組みが見えていない。推進本部はどのように機能しているのか。現状と課題について伺う。</p>	
2 小学校統廃合における閉校校舎の利活用について	<p>宮古市立小・中学校の適正配置実施計画に基づき、本年4月に鶉磯小学校及び千鶏小学校が重茂小学校に統合し、来年4月には川井西小学校と江繋小学校及び小国小学校の3校が川井小学校に統合することが決定している。また、新里地区においても、統合準備が進められており、小学校の適正配置を進めることとしているが、統合後、閉校となった校舎をどのように活用するかが課題となっており、地域懇談会等を進めてきていると認識しているが、利活用計画がどのようなになっているのか伺う。</p>	
3 文化の振興について	<p>(1) 北上山地民俗資料館小国分館の公開について</p> <p>教育行政方針において、国指定重要有形文化財を始めとした民俗資料の展示、公開、保存、整理の実施。体験的活動を目的とした小国分館を一般公開し、企画展を実施していくとしており、昨年の一般質問においても一般公開するとの答弁であったが、未だに一般公開がなされておらず説明もない。一般公開できていないのはなぜか。今後の見通しと実施方針について伺う。</p> <p>(2) 国指定史跡「崎山貝塚」の積極的活用について</p> <p>縄文の森公園整備事業について、史跡公園の園地と展示収蔵施設を一体化した複合施設の建設を行うこととしているが、整備後の利活用方針について伺う。</p>	

	<p>(3) 郷土芸能の保存活動の支援策について</p> <p>本市の郷土芸能は、未指定、市指定、県指定、国指定と大別され、それぞれ後継者不足等の課題を抱えながらも活動されているが、その支援策としてどのような取り組みをされてきたのか。現状と課題について伺う。</p> <p>また、指定は伝承活動の励みとなるものであり、評価の目標でもある。未指定の団体の今後の指定の可能性はあるのか。市指定芸能団体を県指定に上申する考えはないのか伺う。</p> <p>(4) 芸術文化団体の現状と課題について</p> <p>活動拠点として、市民文化会館が復旧され念願が果たされようとしているが、活動拠点や発表の機会をもてず苦慮しているとのことである。</p> <p>芸術文化団体の活動上の課題と支援策について伺う。</p>	
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(火)

質問順位 2番

質問者 議席番号 26番 田中 尚 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 JR山田線復旧事業等について	<p>① JR東日本が山田線の被災区間復旧事業について、復旧後の運営・管理形態を着工条件にしてきていることをどう考えるか。</p> <p>② 三陸鉄道での運営を有力な選択肢と判断した最大の理由は何か。</p> <p>③ 山田線の復旧問題は、地方鉄道の今後のあり方を提起しているとも考えるが、鉄道の必要性を認めた市長は、存続に必要な課題とその実現見通しをどう考えているのか。</p> <p>④ JRは利用促進策の計画策定を関係自治体に求めてきたが、都市間移動で需要の大きい区間は宮古・盛岡間である。宮古盛岡横断道路の整備後には、当該区間の存続問題が浮上すると考えられるが、これからの対応をどう考えているのか。</p> <p>⑤ 利用促進策の具体化には、臨時列車の活用そして恒常化の決意が示されているが、JRの対応はどうか。</p> <p>⑥ 県立宮古病院院長は、医師確保のためにも列車の運行時間の短縮を提案している。軌道改良など根本的な対策が望ましいが、それ以前でもJRがその気になれば2時間以内での運行実績もある。快速列車のダイヤ改良を求めるべきだがどうか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(火)

質問順位 3番

質問者 議席番号 2番 小島直也議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 森づくり体験学習会の開催内容について	本年5月29日区界で行われた宮古市森づくり体験学習を、もっと広く市民に宮古の豊かな山林をアピールする催事に変えていくべきと考えます。 市民が林業を再認識でき、子ども達が自然に接するチャンスを将来へつなぐ好機ととらえ、内容を吟味するべきと考えますが、いかがか伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(火)

質問順位 4番

質問者 議席番号 8番 伊藤 清 議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 米価下落対策について	<p>① 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）で補填されるのは、ほとんどが法人格、集落営農組織が対象であり、本市には該当農家はない。来年度からは、一般農家も加入できるよう検討中と聞いているが、加入奨励と負担軽減を図るべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>② 価格収入安定対策として、特別栽培米に対する補助制度の創設と拡充を図り、現在実施されているが、更に地産地消の観点からも民間事業者を含め、保育所や介護、福祉施設への導入を積極的に働きかけるべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>加えて、学校給食米導入と同様の補助を行う必要があると考えるが、市長の見解を伺う。</p>	
2 シカ駆除対策について	<p>① 電気柵や漁網設置による防護策は限定的な効果しかなく、更に対策を進めるため緩衝帯の設置を提言してきたが、設置に対する検討の現状を伺う。更に今回、緩衝帯設置後に羊、ヤギを放牧することによって効果が向上している事例があると聞かすが、本市においても併せて検討すべきと提言したい。市長の見解を伺う。</p> <p>② 年2回捕獲技術の向上と事故防止のため、射撃訓練を宮古常設射撃場で実施している。現状の支援策に加え、射撃訓練に対する支援を提言したい。加えて常設射撃場も老朽化が著しく、整備が必要となっているが、会員減少もあいまって資金が調達できない現状である。支援策を早急に検討し整備すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月16日(火)

質問順位 5番

質問者 議席番号 10番 北村 進議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 漁業者育成の手立てについて	<p>東日本大震災を契機に漁業者の減少、就業者確保が大きな課題となっています。特に、養殖漁業者の減少は市の支援制度もあり実績を上げていますが、新規就業者を上回る数で漁業経営体が減少しています。</p> <p>先ごろ、「市内外から就業希望者を募り、技術指導や組合員資格の取得を支援する担い手育成について、宮古漁協、重茂漁協、田老町漁協が、初めて連携して取り組み、高齢化が進む漁協の維持、発展に本腰を入れる。」として宮古市漁業就業者育成協議会を設立し、そのメンバーには県と市も参加すると新聞報道がありました。</p> <p>つきましては、以下の点について質問します。</p> <p>① 宮古市漁業就業者育成協議会の主な事業計画の内容について伺います。</p> <p>② 当初は3人程度の受け入れを想定していますが、現在の応募状況と周知方法を伺います。</p> <p>③ 漁業者の配偶者確保や空き仮設住宅など住宅の確保をしておりますが、市としてどのような支援策を講ずるのか伺います。</p>	

<p>2 子どもたちの心のケアについて</p>	<p>小中学校の児童生徒の不登校について、震災後1年目の不登校が小学校で倍増しました。このことは震災に起因すると思われるという認識を示しています。2年後3年後と徐々に減少傾向にあるとのことでした。中学校の不登校においては、震災の影響はあまり受けていない現状であります。</p> <p>また、就学前の児童の相談事業における相談件数が、増加していることも明らかになりました。学力向上の前提は、子どもたちの心の安定が第一であり、その学習環境を整えることは、わたしたち大人が配慮しなければならないと考えます。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <p>① 子どもたちに向き合う時間の確保をいっそう図るべきと考えます。学校現場での行事や会議、震災支援への対応や各種団体等のイベントへの対応について精選と抑制が必要と考えますが見解を伺います。</p> <p>② 改めて、不登校の現状と対応策について伺います。</p> <p>③ 宮古教育事務所に1人配置されているスクールソーシャルワーカーとの連携強化を図るべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>④ 教職員の長時間勤務と病休者の現状及び学校における労働安全委員会の取り組みについて伺います。</p>	
-------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月17日(水)

質問順位 1番

質問者 議席番号 1番 今村 正議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 市庁舎移転の建設内訳について	<p>未だに、宮古の浸水域では、嵩上げも終わらず、自宅すら建てる事が出来ず、災害公営住宅にも移り終えていない被災者が2,374世帯、5,881人おられます。</p> <p>こうした状況で、市役所が新庁舎になるのは、被災者に寄り添わない復興、被災者に寄り添わない宮古市と言われても仕方ありません。また、借金の概要を市民に提示しないで移転計画の市民アンケートをしたことは、市政のあるべき姿とかけ離れています。</p> <p>市庁舎移転計画を検討する上で、建設資金内訳及び宮古市民が負担する借金の明細は必要欠くべからざるものです。</p> <p>建設資金内訳及び宮古市民が負担する借金の明細について伺います。</p> <p>また、建設資金内訳の住民説明会が必要と考えますので、開催を検討していただきたいと思いますが見解を伺います。</p>	
2 宮古市空間線量率の上昇について	<p>9月議会の一般質問で、宮古市は、市内の空間線量率は通常の変化の値であり異常ではないと考えたと答弁し、通常の変化の一つの例として盛岡市の岩手県環境保健研究センターのモニタリングポストの数値を示しましたが、本当に宮古市役所の空間線量率変化と盛岡のモニタリングポストの変動は同じであると言えるのか、宮古市の見解を伺います。</p>	
3 安全な放射線量について	<p>9月議会において、山本市長より市内の各所は健康に影響がないとされる0.23マイクロシーベルト毎時以下であるにご答弁をいただきました。年間1ミリシーベルトの被曝は健康に影響がなく安全であることを示すデータを当然ご存じで、このような答弁をされたと思います。</p> <p>しかし、当方はその根拠となるデータや研究等を調査しましたが未だに発見できません。その根拠となるデータの提示いただきたい。</p>	

<p>4 住民説明会について</p>	<p>磯鶏、上村、藤原には0.10 マイクロシーベルト毎時以上の空間線量率を示す地点があり、福島県白河市と同じ線量率であります。前回の市議会で、宮古市は「お気の毒」であり「大変な状況だと認識している」との答弁でした。</p> <p>空間線量率の異常上昇や環境省の測定法の不備が明らかになっている以上、住民説明会を市長自らが行うことが誠意ある人間のすることだと存じます。また、「宮古清掃センターの農林業系副産物処理等は適正に行われており、その風下に住む住民が、焼却により不利益を被るものはありません。」との答弁でしたが、その根拠を伺います。</p>	
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月17日(水)
 質問順位 2番
 質問者 議席番号 18番 長門孝則議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 水道事業の経営について	<p>本市の水道は、昭和27年6月に給水を開始以来、すでに60年を経過しているが、水源を豊富な地下水に求め、しかも県下でも低廉な料金で供給し、多くの市民から喜ばれています。</p> <p>しかし、一方で近年、水道事業のバロメーターとも言われている有収率が年々減少し、有収水量についても供給単価が給水原価を下回り、純利益も減少しています。</p> <p>そこで、経営の健全化を図り、快適な給水確保の観点から、次の事項について伺います。</p> <p>(1) 有収率について 平成25年度の有収率は78.21%となっているが、このことをどのように受け止めているのか伺います。</p> <p>(2) 漏水対策について 給水量の21.79%は漏水であるが、早期発見し、早期に対応することが必要であるが、その対策はどうなっているのか伺います。</p> <p>(3) 給水原価について 平成25年度決算では有収水量1m³当たりの供給単価が給水原価を下回り、原価割れとなっているが、どのように考えているのか伺います。</p> <p>(4) 職員の給与費について 事業費用に対する給与費の割合が、県内14市の中でも突出しているが、どのように考えているのか伺います。</p> <p>(5) 老朽施設の更新について 配水池や送配水管など40年から50年経過している老朽施設の改良、更新について早急に年次計画を立て実施すべきと思うが、どのように考えているのか伺います。</p> <p>(6) 水道水源保護対策積立金について 市民及び事業者の水源保護の意識の醸成を図る目的で、平成15年より積み立てしているが、その金額と活用はどうなっているのか伺います。</p>	

	<p>(7) 職員研修について 経営感覚を持ち、企業職員としての資質の向上と効率的な業務執行のため、職員研修の充実に努めるべきと思うがどうか伺います。</p> <p>(8) ボトルウォーターについて 宮古市の水道は、早池峰山に降った雨や雪が20年から30年かけて浸透し、豊富なミネラルを含んだ地下水であります。これを利用しボトルウォーターを製造し、販売してはどうか伺います。</p>	
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月17日(水)

質問順位 3番

質問者 議席番号 20番 落合久三議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 防災集団移転事業などで土地を譲渡した場合の税並びに使用料等の負担について	<p>防災集団移転促進事業など震災関連事業に関わる土地の譲渡が行われてきた。その際、受け取った金額を所得とみなされ介護保険料負担が増加したなどの意見や苦情が寄せられている。</p> <p>そこで、以下の点について質問する。</p> <p>① 譲渡所得税には5,000万円の特別控除制度があるが、地方税や国保税、保育料、介護保険料には同様の控除はあるか。また、この一時所得によって国保税や使用料負担が増大した件数(人)はどれぐらいか。</p> <p>② 国税の場合の特別控除制度の趣旨を生かし、控除制度がないものに対して、市として免除、軽減を具体化すべきだと思うがどうか。</p>	
2 中心市街地拠点施設整備事業について	<p>この整備事業は今年度末には基本計画を策定し、27年度当初から用地取得手続きに入るなどのスケジュールに示されているように、急ピッチで推進が図られようとしている。</p> <p>市庁舎の位置の設置、変更は議会において3分の2以上の同意が必要な特別多数議決要件である。</p> <p>そこで、以下の点について質問する。</p> <p>① この3分の2以上の議決要件を市長はどう受け止めるか伺う。</p> <p>② この「3分の2以上の議会議決」は、住民の利便性を最大限図りつつ住民合意を形成することの重要性から規定されているものと理解する。そこで、庁舎移転の是非は住民投票に付すべきと思うがどうか。</p> <p>③ 住民合意を形成するうえで前提となるものの一つは、移転後の現庁舎と土地の利活用計画案を示すことだと思うがどうか。</p>	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月17日(水)

質問順位 4番

質問者 議席番号 22番 松本尚美議員

質問事項	質 問 要 旨	摘 要
1 ファンド(投資基金)の創設と運用を	ファンドを創設し、事業再生、拡大、創業、起業(ベンチャー)を促す手段として活用することを地域活性化の策として推進している自治体があると聞く。本市においても研究、検討すべきと考えるが、市長の現状認識と活用することの是非について伺う。	
2 農林水産業におけるIT活用強化を	商業、サービス業、製造業においては比較的ITの活用による経営、運営が進んでいると思うが、農林水産業の分野においては遅れていると思う。市長の認識と強化の必要性の有無について伺う。	
3 道路網整備を見越しての戦略は	本市も含めた地域において幹線道路網の整備が進み、環境が大きく変化する。以前から指摘しているが未だ戦略が見えない。現在、鋭意検討が進んでいるとすればその状況について説明願いたい。進んでいないとすれば、今後の取り組みについて市長の戦略の一端も含め説明を求める。	

一 般 質 問 通 告 書

質問月日 12月17日(水)

質問順位 5番

質問者 議席番号 7番 中島清吾議員

質問事項	質問要旨	摘要
1 子どもの医療費無償化政策について	<p>① 前回、一般質問答弁で実施にあたり「県の動向を見ながら検討をしていく」と言われましたが、その後の進展状況を伺います。</p> <p>② 県は具体化に積極的と聞きますが、各市町村の対応にばらつきがあるようです。宮古市はどのような考えを県に示したのか伺います。</p> <p>③ 県の対応に関わりなく、来年度から実施する決意を示すべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	